

フレーベル館創業90周年記念出版

21世紀の保育を見つめて、今、保育の基本を問い直す

幼稚園教育要領や保育所保育指針の中で示されている「保育の基本」は、さまざまな形に受容され実践に移された。しかし、そこに誤解に基づく混乱はなかったか。本シリーズは、具体的な事例を通してその混乱をただし、あるべき保育の姿を提案します。

保育の基本〈全6巻〉



- ◆第1巻 環境を通しての保育とは
- ◆第2巻 生活と遊びを通しての保育とは
- ◆第3巻 個と集団を生かす保育とは
- ◆第4巻 自由の中で規律が育つ保育とは
- ◆第5巻 発達に合わせて援助する保育とは
- ◆第6巻 総合的指導による保育とは

編集委員 森上史朗（青山学院大学教授）
高杉子子（子どもと保育総合研究所）
今井和子（東京成徳短期大学助教授）
後藤節美（別府市・石垣幼稚園長）
田中泰行（東京都・向南幼稚園長）
渡辺英則（横浜市・港北幼稚園副園長）

●今特に問題となっていることを各巻のテーマに

保育現場で、今特に問題となっていること、誤解されていること、混乱していること、見直されつつあることなどを取り上げ、各巻のテーマにしています。

●子どもに寄り添う保育を

「子どもから」という発想を軸に、子ども理解、一人一人を見る、集団生活の意味や表面的な行動の奥にある意味を見る、ということを考えつつ、子どもに添った保育のあり方を考えていきます。

●これからの保育への提案

次回に予想される教育要領の改訂をも視野に入れながら、これからの保育のあるべき姿を考察し、どう実践していったら良いかを事例をもとに具体的に提案していきます。

判型/A5判・頁数/各巻216頁 セット定価：本体12,000円＋税

キンダーブックの
フレーベル館